

平成28年度

香芝市一般会計予算の概要

香芝市総務部財政課

予算案の概要

一般会計予算の概要

本市の財政状況は、継続的に実行してきた行財政改革の推進や、過去に発行した起債が順次その償還期日を迎えたことにより、実質公債費比率については、ピークであった平成22年度の22.6%から、平成26年度には19.7%まで低減するに至りました。しかし、今後予定されている様々な事業の実施に伴う将来負担を考えた場合、本市が持続可能で健全な財政運営を進めていく上において、今後さらに厳しい情勢が待ち構えているといえます。

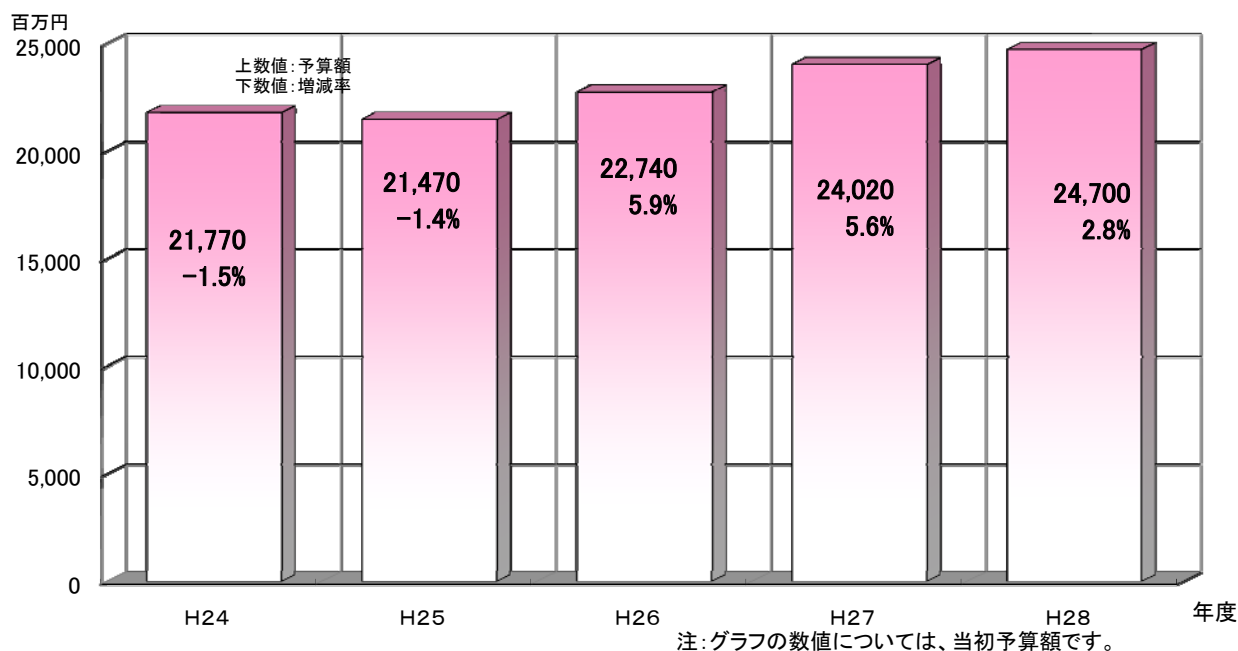
このような中、平成28年度当初予算については、平成21年度より導入されている「部局単位の枠配分方式による予算編成」の枠組みの中で、市民との協働や民間活力などについても積極的に活用しつつ、限られた財源で最大限の効果が得られるよう行政運営を図り、総合計画の将来像である「笑顔と元気！！住むならかしば」の着実な実現に取り組むとともに、将来に向けて持続可能な財政基盤の確立に努めました。

特に、平成28年度は、市長の改選期にあたり、新年度予算においては、行政経費の義務的経費を中心としながら、継続事業における国等の補助事業も考慮した予算としています。また住民生活の低下やサービスの低下を招くような経費につきましても、

一般会計の概要

平成28年度一般会計の予算規模は、**247億円**で前年度と比べると6億8,000万円の増（2.8%増）となりました。

【一般会計予算規模の推移】



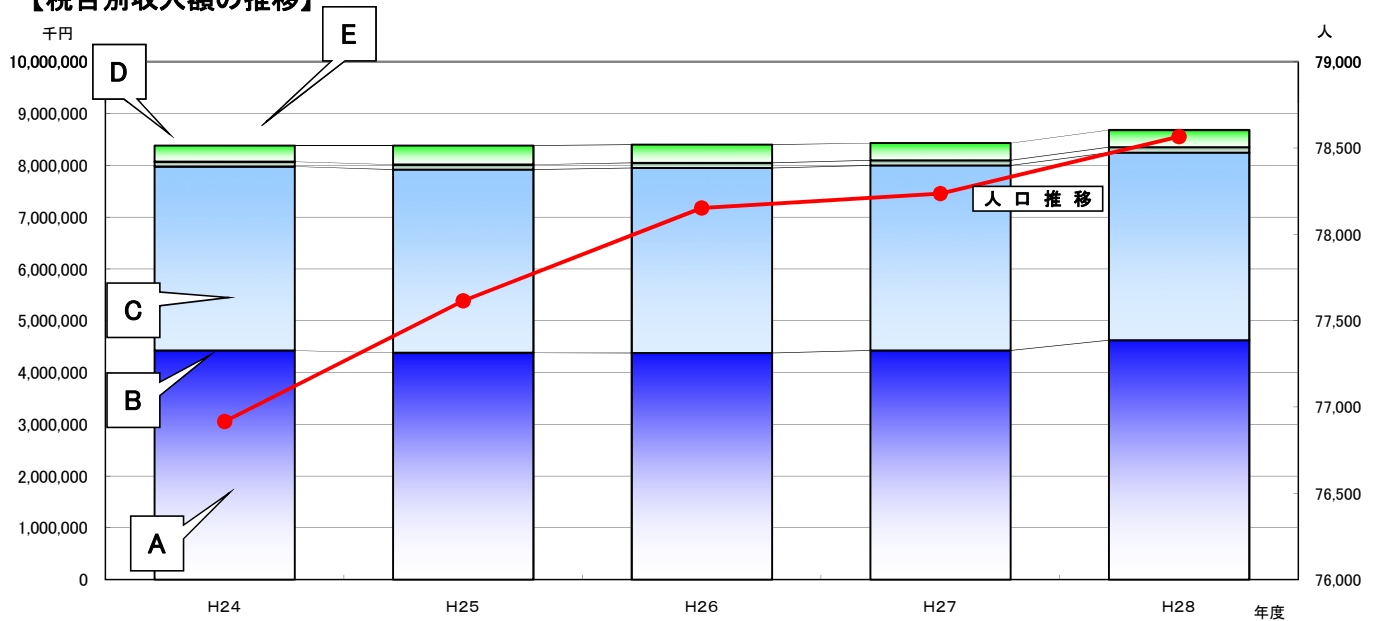
- ① **市税収入**については、前年度と比較して2億8,540万円の増(3.2%増)の**90億7,546万円**と見込みました。個人市民税では個人所得の増加により1億9,780万円の増(4.5%増)、固定資産税では5,070万円の増(1.4%増)、軽自動車税では1,480万円の増(12.4%増)などを見込んでいます。

〔市税収入見込額〕

(単位:千円:%)

	平成28年度 当初収入見込額 A	平成27年度 当初収入見込額 A	差引 A-B	増減率 (A-B)÷B
市 民 税	4,990,600	4,770,700	219,900	4.6
個人市民税	4,626,300	4,428,500	197,800	4.5
法人市民税	364,300	342,200	22,100	6.5
固 定 資 産 税	3,620,762	3,570,062	50,700	1.4
軽 自 動 車 税	134,100	119,300	14,800	12.4
た ば こ 税	330,000	330,000	0	0.0
合 計	9,075,462	8,790,062	285,400	3.2

【税目別収入額の推移】



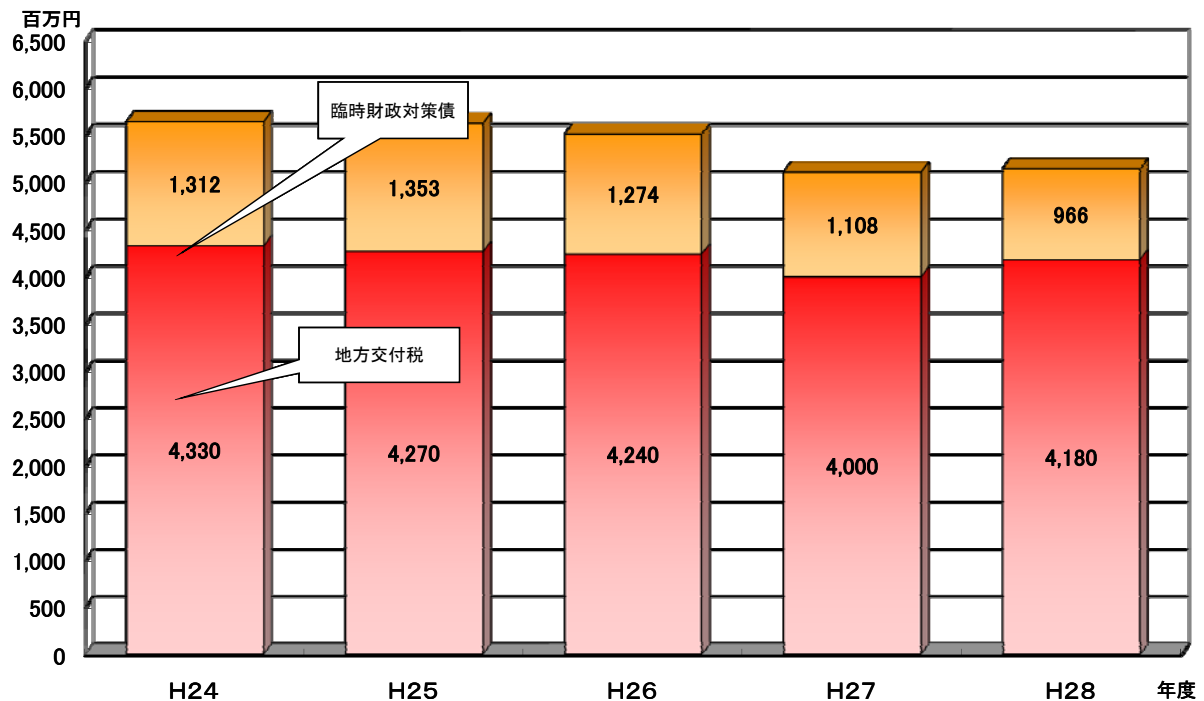
(単位:千円)

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
市 町 村 民 税	4,758,000	4,721,000	4,736,000	4,770,700	4,990,600
うち 個人(A)	4,425,000	4,381,000	4,378,000	4,428,500	4,626,300
うち 法人(B)	333,000	340,000	358,000	342,200	364,300
固 定 資 産 税 (C)	3,553,702	3,539,703	3,573,063	3,570,062	3,620,762
軽 自 動 車 税 (D)	98,700	102,200	107,000	119,300	134,100
市町村たばこ税(E)	313,000	367,000	352,000	330,000	330,000
市 税 合 計	8,723,402	8,729,903	8,768,063	8,790,062	9,075,462
年 度	H24	H25	H26	H27	H28
人 口	76,916	77,615	78,152	78,236	78,566

※当該年度4月1日現在人口

- ② **地方交付税**については、平成27年度の交付実績と地方財政計画においての交付税総額の減（0.3%減）を踏まえつつ、基礎数値となる人口の値を国勢調査の人口（速報値）に置き換えたこと等により、前年度より1億8,000万円の

【広義の地方交付税】



- ③ **国・県支出金**については、**48億2,281万円**となり、前年度と比較して3億7,205万円の増（8.4%増）となっています。これは、子育て世帯臨時特例給付金事業補助金の皆減があるものの、障害者扶助費の増加に伴う社会福祉費負担金、また地域交流センター建設事業に伴う土木費国庫補助金などの増加によるものです。

- ④ **市債**については、**28億5,180万円**を計上し、前年度と比較して4億8,660万円の減（14.6%減）となっています。退職手当債などの増額があるものの、中学校給食センター整備事業債などの減額によるものです。

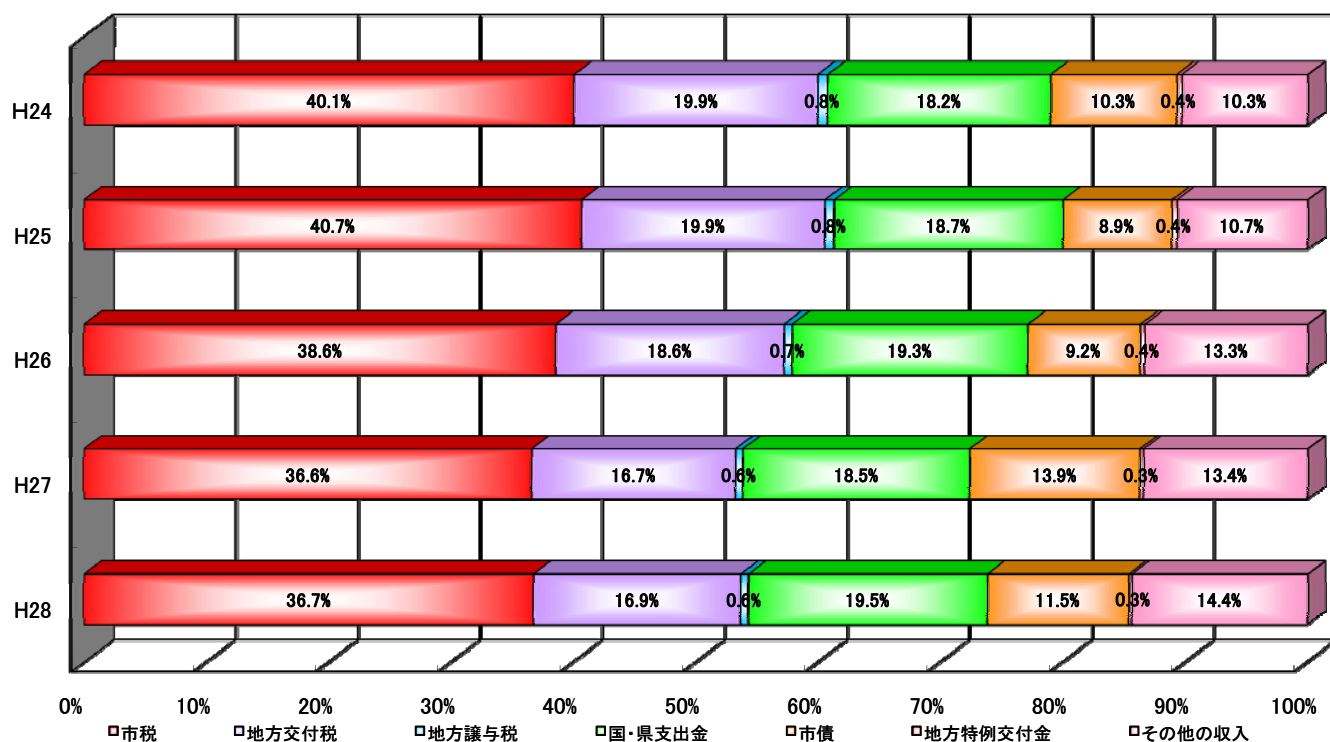
【一般会計歳入の内訳】

(単位:千円:%)

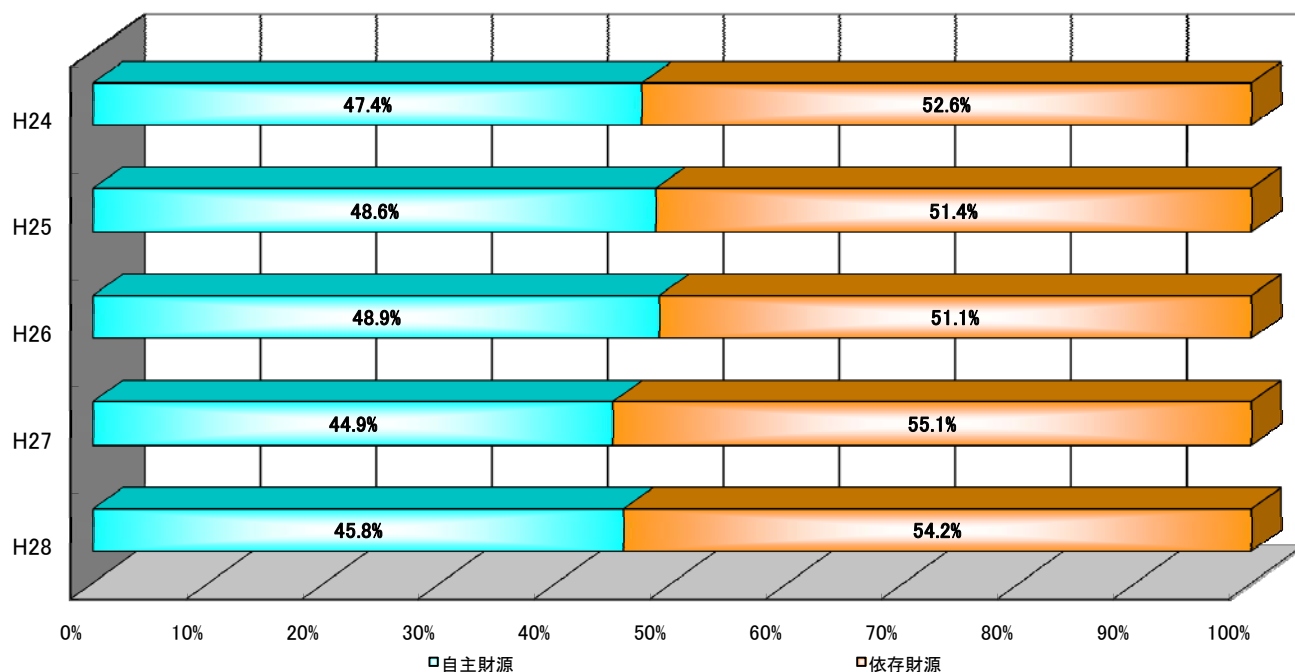
	平成28年度	平成27年度	比較		平成28年度
			増減	増減率(%)	構成比
市 税	9,075,462	8,790,062	285,400	3.2	36.7
地 方 交 付 税	4,180,000	4,000,000	180,000	4.5	16.9
地 方 譲 与 税	157,000	147,000	10,000	6.8	0.6
国・県支出金	4,822,806	4,450,758	372,048	8.4	19.5
市 債	2,851,800	3,338,400	△ 486,600	△ 14.6	11.5
うち臨時財政対策債	966,200	1,108,000	△ 141,800	△ 12.8	3.9
地方特例交付金	65,000	75,000	△ 10,000	△ 13.3	0.3
その他の収入	3,547,932	3,218,780	329,152	10.2	14.4
合 計	24,700,000	24,020,000	680,000	2.8	100.0

各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

【一般会計歳入構造の推移】



【歳入財源内訳の推移】



歳 出

- ① 人件費、扶助費及び公債費の**義務的経費**については、**134億882万円**となり、前年度と比較して5億2,520万円の増（4.1％増）を計上しています。
- 人件費については、退職手当等の増により12.7％、また扶助費については、障害福祉費の増加などにより1.6％の増となっています。一方で、公債費については、市債の発行抑制及び償還が進んだことにより、1.7％の減となっています。
- ② 物件費及び維持補修費の**消費的経費**については、ごみ収集業務民間委託事業の計上などの増加により、**32億8,132万円**となり、前年度と比較して1億3,208万円の増（4.2％増）となっています。
- ③ **投資的経費**については、みつわ保育所施設整備事業の増加はあるものの、中学校給食センター建設事業や学校施設等耐震耐震補強事業などの減少により、**27億6,491万円**となり、前年度と比較すると5億7,042万円の減（17.1％減）となっています。

【一般会計予算経費別総括表】

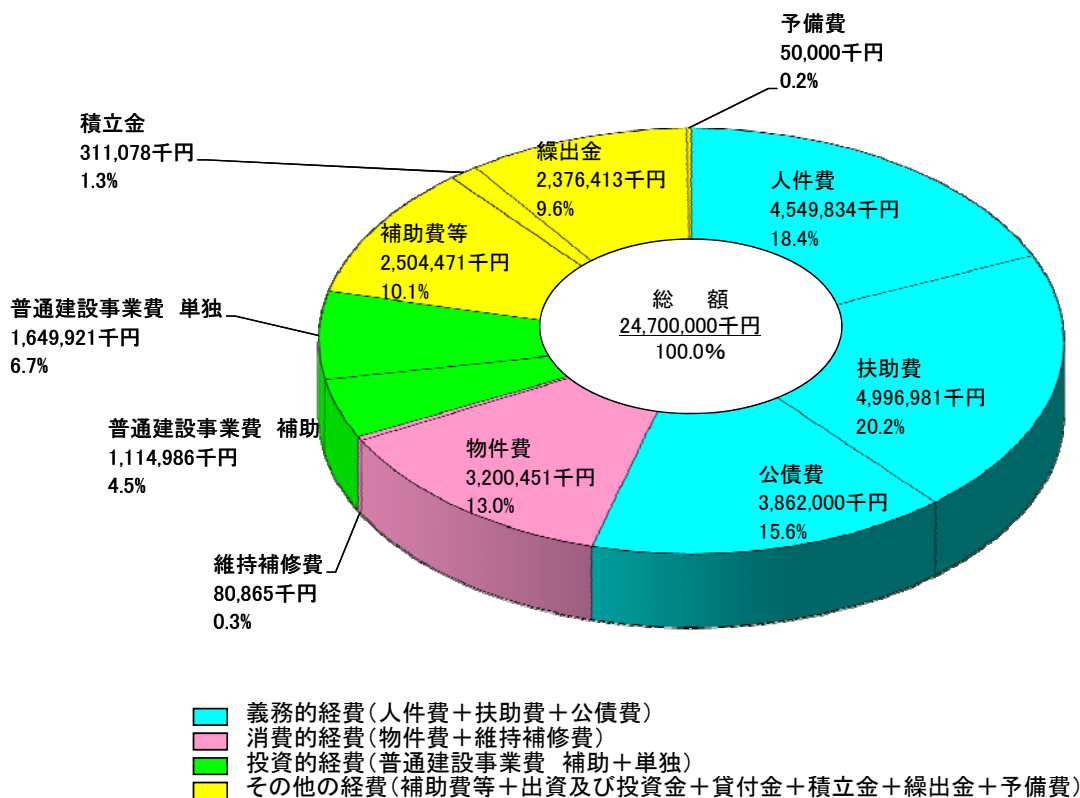
（単位：千円：％）

区 分	H28年度	H27年度	増 減	増減率	H26年構成比
義務的経費 計	13,408,815	12,883,616	525,199	4.1	54.3
人 件 費	4,549,834	4,035,789	514,045	12.7	18.4
扶 助 費	4,996,981	4,917,827	79,154	1.6	20.2
公 債 費	3,862,000	3,930,000	△ 68,000	△ 1.7	15.6
消費的経費 計	3,281,316	3,149,239	132,077	4.2	13.3
物 件 費	3,200,451	3,072,675	127,776	4.2	13.0
維持補修費	80,865	76,564	4,301	5.6	0.3
投資的経費 普通建設事業費	2,764,907	3,335,328	△ 570,421	△ 17.1	11.2
補 助	1,114,986	876,553	238,433	27.2	4.5
単 独	1,649,921	2,458,775	△ 808,854	△ 32.9	6.7
その他の経費 計	5,244,962	4,651,817	593,145	12.8	21.2
補 助 費 等	2,504,471	2,191,791	312,680	14.3	10.1
投資及び出資金	0	0	0	—	0.0
貸 付 金	3,000	3,000	0	0.0	0.0
積 立 金	311,078	183,594	127,484	69.4	1.3
繰 出 金	2,376,413	2,223,432	152,981	6.9	9.6
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.2
合 計	24,700,000	24,020,000	680,000	2.8	100.0

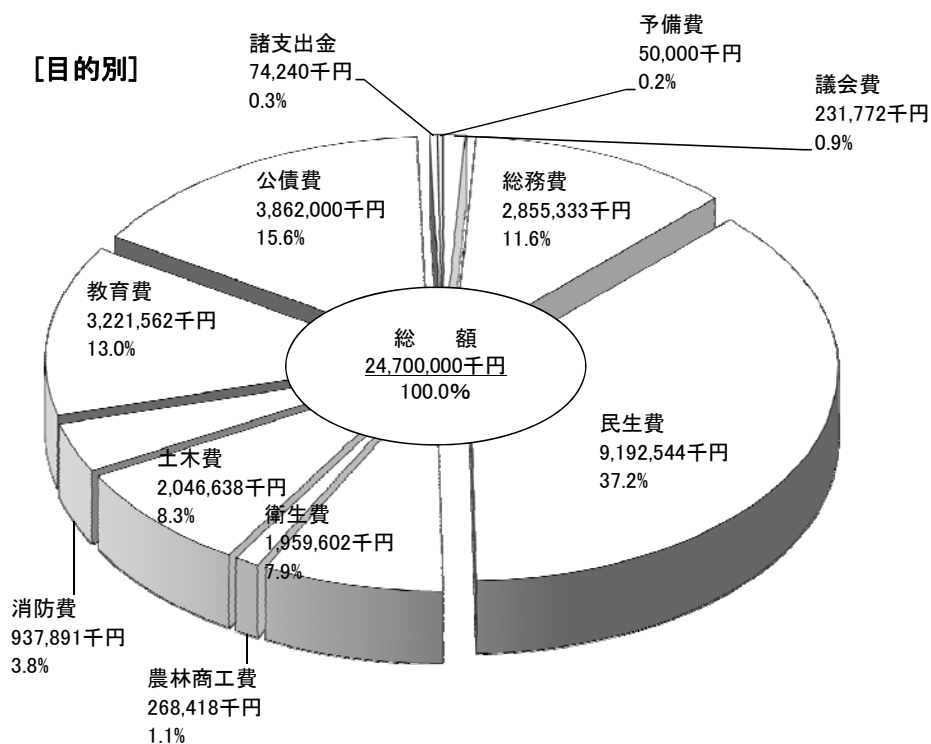
各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

【平成26年度予算歳出構成比】

〔性質別〕



〔目的別〕



【平成28年度一般会計予算を市民一人当たりの予算に置き換えると・・・】

市民一人当たりの予算

316,051

1世帯当たりの予算 841,338 円

市の人口 78,152 人

市の世帯 29,358 世帯

(平成28年3月31日現在)

【民生費】

高齢者、児童の福祉などに
117,624 円 37.2 %

【公債費】

借入金の返済に
49,417 円 15.6 %

【教育費】

学校、図書館の運営などに
36,537 円 11.6 %

【総務費】

文化振興、情報化などに
41,222 円 13.0 %

【土木費】

道路、河川の整備などに
26,188 円 8.3 %

【衛生費】

ごみ処理、病気予防などに
25,074 円 7.9 %

【消防費】

消防活動や防災のために
12,001 円 3.8 %

【議会費】

市議会を運営するために
2,966 円 0.9 %

【農林商工費】

農業の振興などに
3,435 円 1.1 %

【その他】 諸支出金・予備費
1,590 円 0.5 %

【もし香芝市が給料収入500万円の家庭だったら・・・】

収入	支出
給料 (市税) 500 万円	食費 (人件費) 259 万円
パート収入 (使用料・手数料など) 139 万円	生活費 (物件費・補助費等) 325 万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など) 600 万円	医療費 (扶助費) 285 万円
貯金の取り崩し (繰入金) 6 万円	自宅の修理代 (維持補修費) 5 万円
借入金 (市債) 163 万円	車・土地の購入費 (普通建設事業費) 158 万円
合計 1,409 万円	子どもへの仕送り (他会計への繰出金など) 136 万円
借入金の残高(一般会計) ※平成27年度末見込み 1,999 万円	借入金の返済 (公債費) 220 万円
	貯金 (積立金・貸付金など) 21 万円
	合計 1,409 万円